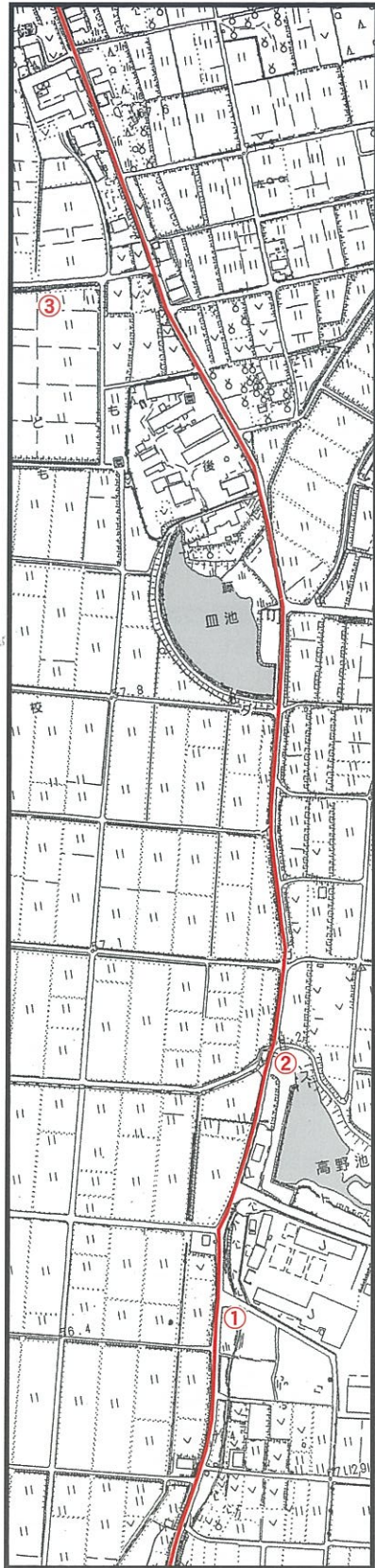


<図 12-1>



<図 12-2>

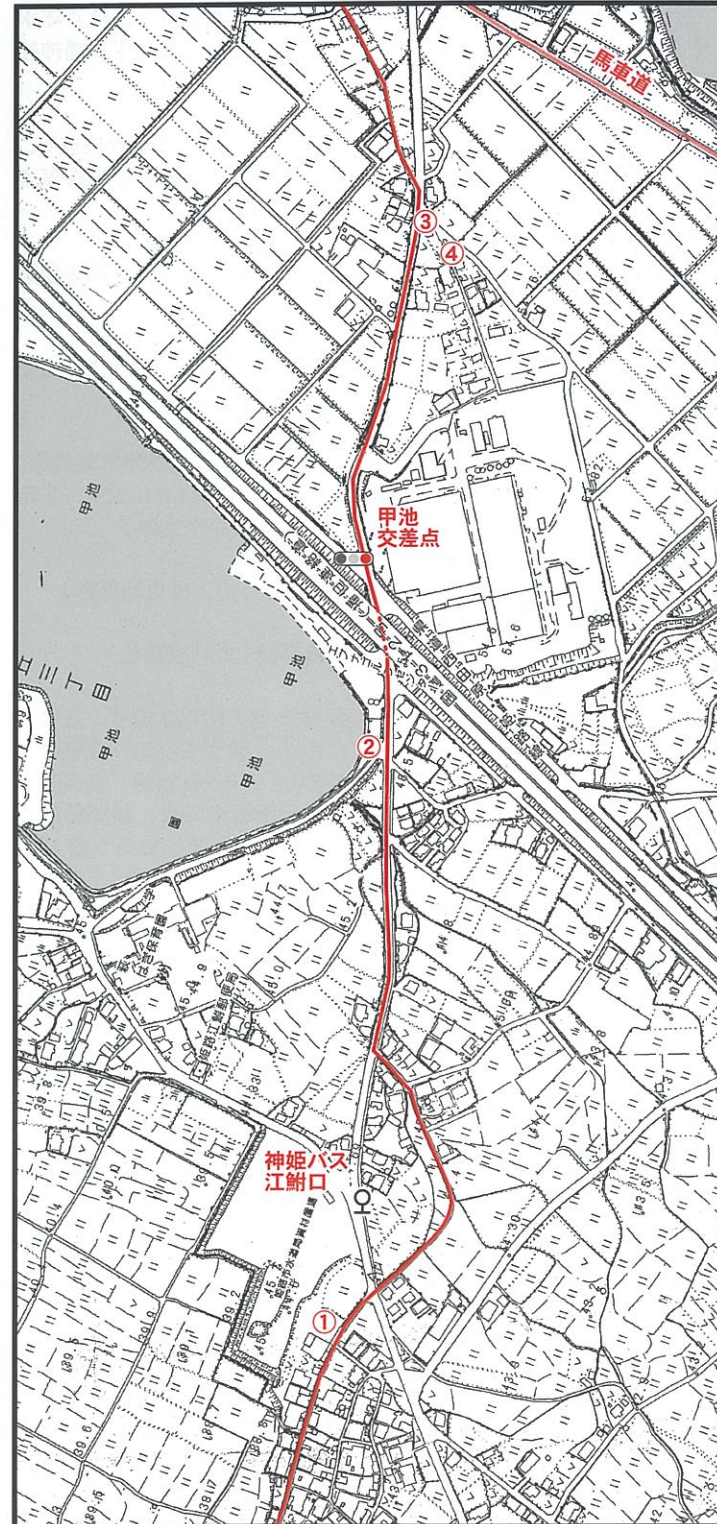


- ①上野墓地(3ヶ所に六地藏、墓地東側サイフォン式用水遺構跡)
- ②平成18年高野池改修竣工記念碑
- ③坊が池遺跡(弥生時代の集落跡)
- ④立場瓦(船津瓦)発祥顕彰碑(文化2年(1805)御用瓦師小林又右衛門が藩命で大沢に瓦窯を築造、大沢が辻川と太尾の間で「中の立場(休憩所)」であったことからの呼称)
- ⑤西光寺野の人参役所跡(姫路藩家老河合寸翁は文政2年(1819)西光寺野の一角で朝鮮人参栽培を試みた。文久2年(1862)姫路藩は薬用人岡庭小平太を人参製法方に任命、役宅(人参役所)を建設して栽培に取り組み明治元年(1868)には千八百両の売り上げ高に至る。明治4年人参役所は岡庭家に払い下げられたが同年播但一揆で焼失、栽培は続けられたがほどなく廃止)
- ⑥河合寸翁西光寺野紀功碑(表面が摩滅、かろうじて「西光寺」「河合氏聡明」「天保八季丁酉十月」等が読み取れるという。大正十三年以後現在地に移転)

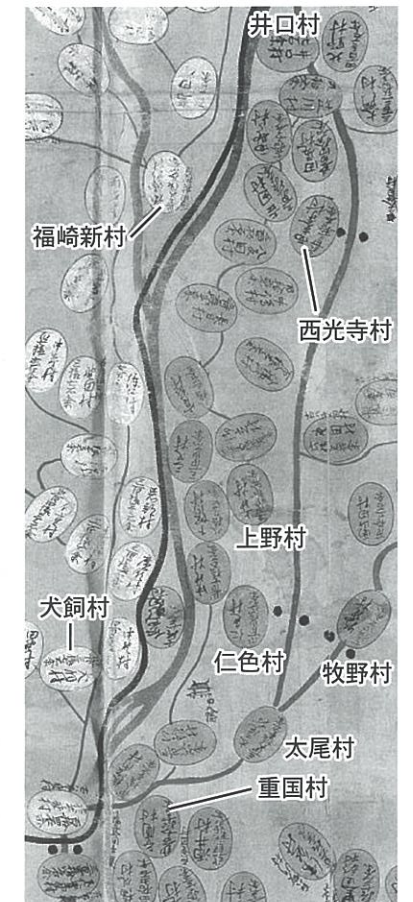


『生野道』をたずねて その3

<図 9>

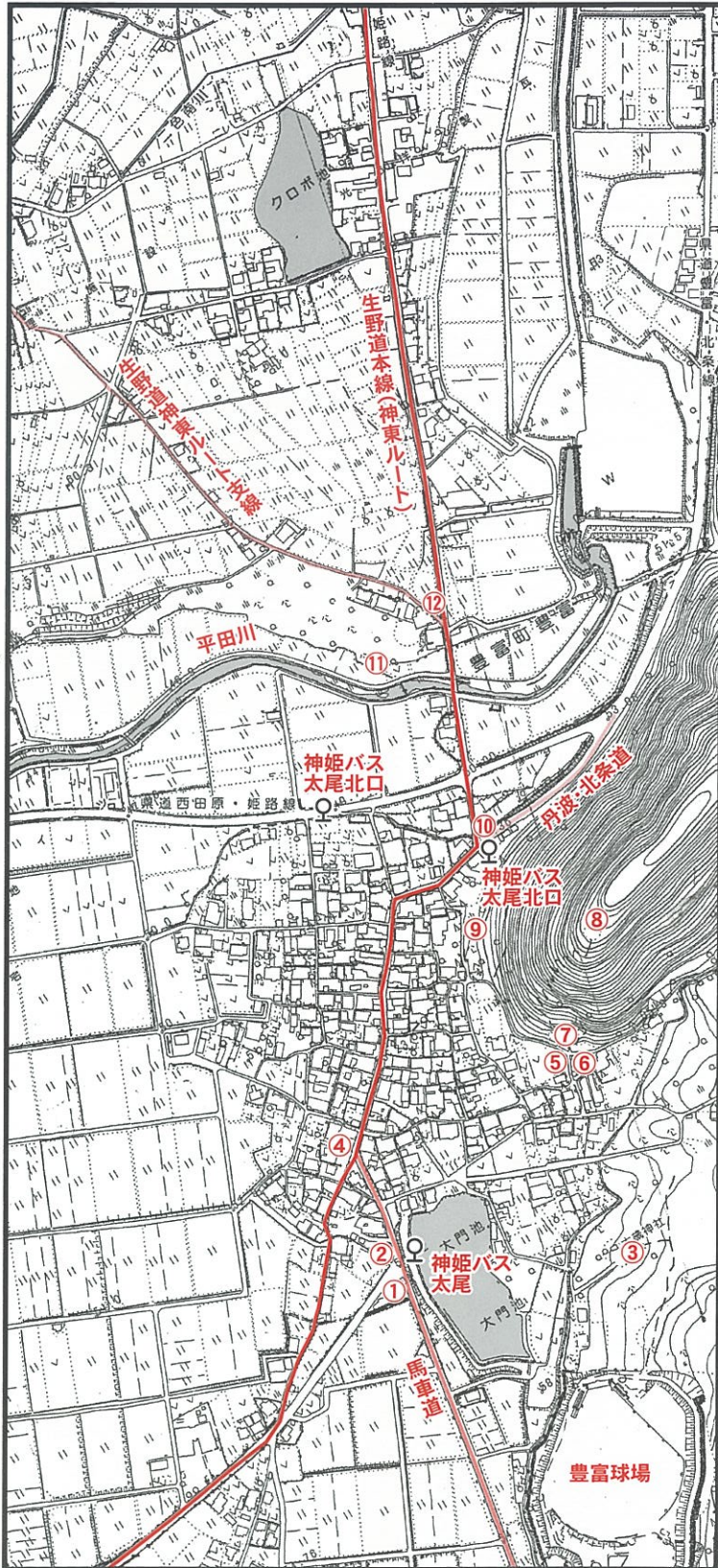


- ①甲八幡神社御旅所
- ②昭和58年甲池改修工事竣工記念碑
- ③道標(右指差し にふの(仁豊野)駅 ひろみね しよしゃ)
- ④道標(右ひろみね ひめし 左ごちゃく)



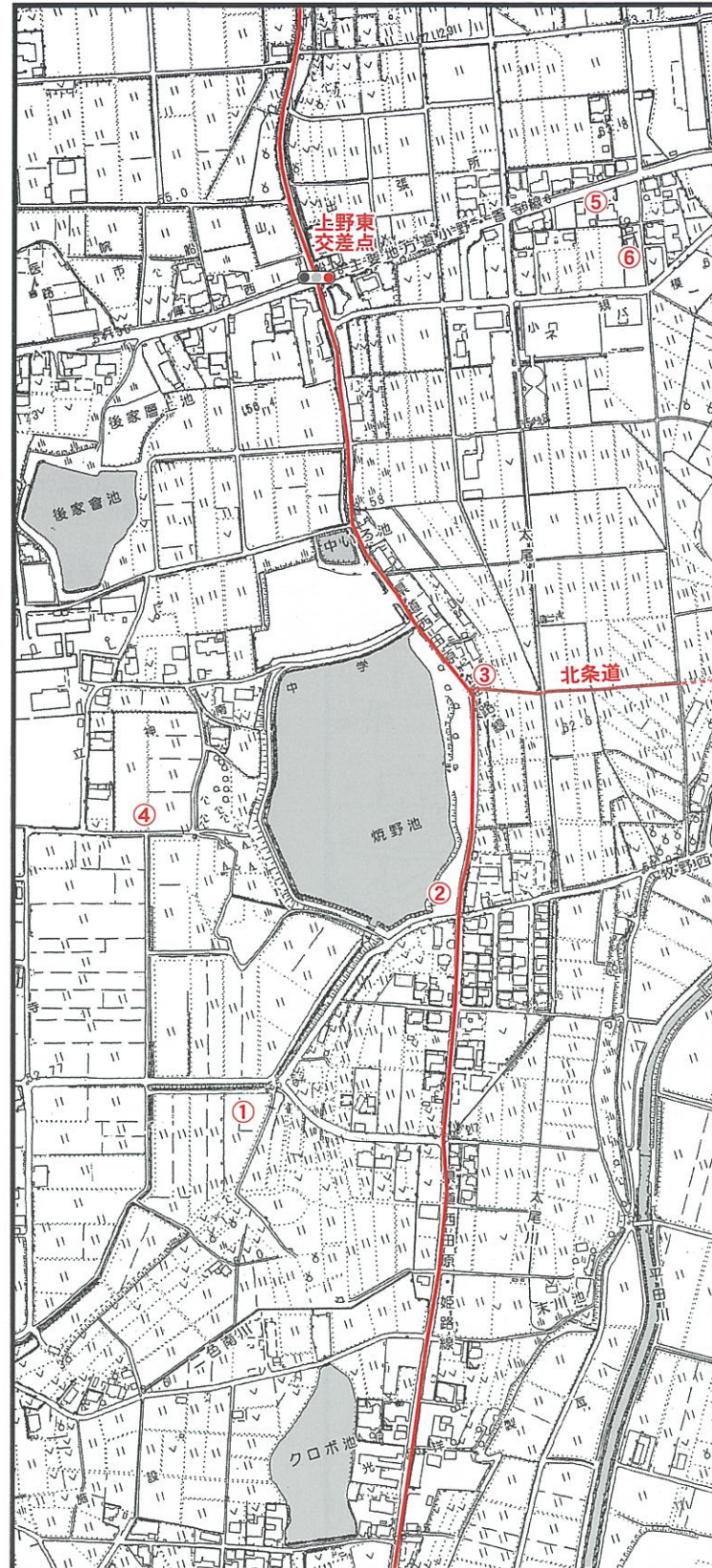
国立公文書館蔵「元禄国絵図(播磨国)」部分を加工

<図 10>



- ①明治 15 年道標(右ひろみね)
- ②豊富村道路元標
- ③大歳神社(太尾の氏宮、文化 5 年(1808)石鳥居・元禄 12 年(1699)石燈籠一対・文化 4 年水盤・天保 2 年(1831)甲八幡神社遙拝所常夜灯 1 基
- ④生野道本線・馬車道分岐点(これより北は生野道本線を馬車道に転用)
- ⑤元禄 12 年(1699)当山開基菅野西念首座墓
- ⑥地藏堂・カラト橋(組合式石棺の一部)
- ⑦観音堂(磨崖仏(薬師如来坐像)、稲荷神社参道途中に文化 12 年(1815)大日如来坐像)
- ⑧稲荷神社(山上は太尾城跡)
- ⑨大歳神社(太尾祖霊社)
- ⑩天保 3 年(1832)道標(正面: たんは ほうてう道 左側面: ひめし ひろみね道 右側面: 天保三壬辰十二月 服部藤四郎 背面: たしま しそう道)
- ⑪仁色窯跡
- ⑫道標(右たしま 左上野みたち、神東ルート支線の分岐点、鍛冶内・重国から江鮎に向かう神東ルート支線もあり、いずれも福崎町の辻川で本線に合流)

<図 11>



- ①薬師堂跡(洪水で流された宗福寺の本尊薬師如来像を祀っていたという)
- ②仁色廃寺跡顕彰碑(西光寺野の台地にあり戦国時代末期に廃絶したという寺院群を仁色廃寺と呼ぶ。羽柴秀吉の播磨侵攻に際し、それらの寺院から移されたという仏像が上野地福寺の大日如来坐像、上野宇佐八幡神社の阿弥陀如来坐像、中野薬常寺の薬師如来坐像・聖観音立像・阿弥陀如来立像だと伝えられている)・崇徳興仁碑(大正 15 年船津村仁色組建立)
- ③道標(右北条 左たしま)
- ④神南青年学校跡(昭和 10 年青年学校令により昭和 18 年 4 月船津村・山田村・豊富村・香呂村・中寺村五ヶ村立で設置、昭和 22 年廃校)
- ⑤西光寺野開発顕彰碑(この辺りが西光寺野南端、姫路藩家老河合寸翁は文化 8 年(1811)西光寺野を視察し養蚕所を設置するため開墾を命じたが、本格的な開発は大正元年からであり市川町瀬加の岡部川から取水、西光寺野まで延長 5.4 km の疎水で約 330 町歩の耕地を開発)
- ⑥瑞岡神社(瑞岡の氏宮、大正年間に千種町の鍋ヶ森神社から勧請)